

第3回広域観光連携専門委員会 会議録

日時：平成29年10月24日

14:00～

会場：糸魚川市役所 202 会議室

1、開会挨拶

〈糸魚川市観光協会〉

2、報告

(1) カーゴトラック&トレイン、サイクルトレインの実施状況について

〈事務局〉

＝資料に基づき説明＝

- ・カーゴトラックは1か月間全10回で募集をかけたが、実績として1回運行することが出来た。サイクルトレインは約4か月で延べ244人の利用があった。
- ・サイクルトレインについて出た意見は、
「自分の自転車を見ながら、他の方と自転車トークができたのがすごくよかった」
- ・カーゴトラックは、自分の自転車がどんな状態で運ばれているのかわからないというのが難点だと聞いた。利用料金も高い。またサイクルトレインは9月からは乗車券料金だけで利用ができるようになったのも人気の一因であった。

(2) 大糸線キハ52限定ストラッププレゼントキャンペーンについて

〈事務局〉

＝資料に基づき説明＝

- ・昨年は7月16日から開始したが、今年は繁忙期以外で大糸線を利用していただきたいという事で開始日を1か月先送りした。数量は去年の倍の2000個作成。現在約1000個配布し、1,000個が残っているので引き続きPRをお願いしたい。

〈委員〉

- ・キハストラップ交換開始日はシャッター開けたら待っていた方もいた。7月からやればもっとはげが良かったと思う。

〈事務局〉

- ・ストラップはアンケートを書いてもらっている。来年改善できる場所があればしていきたい。

(3) 平成29年度訪日プロモーション地方連携事業について

〈事務局〉

＝資料に基づき説明＝

- ・目次12頁の映像についてはそれぞれの市町村の自転車に関するプロモーションビデオを現在制作中。

- ・台北の国際旅行博での出展ブースの名前は「信州日本海」に。
- ・旅行博のアンケートの項目の「日本に何回ほど来たか」という質問に、お客さんの約40%が6回以上だった。
- ・日本が初めての方は大阪や東京などへ行くが、何回か来られた方は“新しい日本探し”として他の場所へ行くお客さんが多い。
- ・〇〇県(市・町)を知っているかというアンケートでは、大町、白馬、朝日、上越の認知度が高かった。高い理由として、大町はアルペンルート、白馬は冬、朝日は日本語学校の教科書の表紙に載っている春の四重奏、上越は上杉謙信。
- ・台湾ではBSで真田丸等歴史もののドラマが見れるため上越の認知度が高い。

〈委員〉

- ・出展ブース名が「信州日本海」とあるが、台湾の方には長野と信州どちらが響くのか。

〈事務局〉

- ・武将もの、歴史ものの知識が豊富。現地の方から長野より信州の方がいいのではないかとアドバイスをいただいた。

〈委員〉

- ・台湾の方にはグランフォンドに参加してもらったが、どうだったか

〈事務局〉

- ・喜んでいただいた。海辺から山、また海辺へというコースは台湾にもあるが、180kmや200kmほどの距離になってしまう。糸魚川は一気に山になるのでストレスフリー。当日は天気も良く日本海に向かって走るのが気持ちよかったと言ってもらえた。

3、審議事項

(1) 平成30年度事業について

〈事務局〉

＝資料に基づき説明＝

- ・サイクルトレインは好評で、今後も推進していきたい。JR西日本では来年については未定ということであった。今後も要望は行っていきたい。サイクルトレインと併用して、カーゴトラック&トレインを引き続きやっていきたい。今後は大糸線だけでなく、トキメキ鉄道やあいの風にも対応したカーゴトラックを実施できればと考えている。
- ・来年度、新たな事業のために90万円の予算があるので、事業提案をお願いしたい。

(2) 平成30年度訪日プロモーション地方連携事業の申請について

〈事務局〉

＝資料に基づき説明＝

- ・白山神社の拝殿が非常に暗く物置に見えてしまう。造作物に興味のある台湾の皆さんが写真撮ろうとしても暗くて撮れないという事があったので照明を付けてもらいたい。

〈事務局〉

- ・訪日プロモーションの事案提案書は10月中に報告しなければいけない。
今週中に事務局の方にご報告いただきたい。

〈委員〉

- ・30年度の予算を課内で検討した結果、やや特定の地域を限定した事業に偏っている感じがする。カーゴトラック&トレインも泊～糸魚川間を是非入れていただいて、事業計画を実施してもらえよう努力してもらいたい。
- ・招請事業、メディア招聘等、一部の地域に限定した事業内容が濃いと思う。

〈事務局〉

- ・案として出しているので叩き台としてみていただければと思う。

〈委員〉

- ・地域限定な感じがする、負担金相当のものが取れているのかという意見が多かった。サイクルフェスタのコースには絡んでいるが宿泊等は何もない。そのあたりを工夫してもらいたい。

〈委員〉

- ・大きく変更がある場合や市町村の意見等はいつまでに出せばいいか。

〈事務局〉

- ・10月31日の5時までに出せば大丈夫。細かい手直しはヒアリングの時にできるので総体的にやることを決めたい。

〈事務局〉

- ・平成30年度の事業について、何か目新しい事業を一つ入れたい。皆さんからご検討いただきたい。

(3) 平成30年度予算について

〈事務局〉

＝資料に基づき事務局より説明＝

- ・負担金についても、今後議論をしていかなければならないと思っている。
- ・1番のメインは訪日プロモーション。各構成団体がみんなでやっていける事業という事で予算規模が大きくなっている。そのあたりをご理解いただきながら負担金についてよろしくお願ひしたい。
- ・事業についても縮小傾向にあるが、その中で新しい事をやっていきたいのでご意見ご提案をいただければと思う。

〈委員〉

- ・ネット、紙媒体等広域のサイクリストに優しい案内がもっとあればいい。

〈委員〉

- TTE 用のチラシとは別に日本語版、多国語版のあるパンフレットを是非作ってもらいたい。以前作ったパンフレットを増刷するのがいいか、作成から時間が経っているのでブラッシュアップし全部一新するか。一新すればまた版代もかかってしまうが、できれば増刷よりリノベーションしていただきたい。

〈委員〉

- この予算では大した量ができないと思う。ブラッシュアップするしかないか。

〈委員〉

- そのことも含め事務局でまた考えてみてほしい。

〈事務局〉

- 他にまた何かあったらご連絡いただきたい。

〈委員〉

- 紙媒体のパンフレットももちろん必要だが、今のご時世ネットの充実に力を入れた方がいいと思う。

(4) その他

〈事務局〉

- 事前にメールで資料をお送りした、インバウンドのサイクリングによる広域連携についてお話したい
＝資料に基づき説明＝
- 今後北アル地域だけでなく、上越市から妙高市、長野市、大糸線や148号線など広域的にやっていくのは魅力的で悪い話ではないと思うが、今回は時間的な部分や負担金についても協議をしていない。
- 協議をする前に長野市の申請の中に北アルプス日本海広域連携会議として名前を入れるのは厳しいという事で、今回は各市町村の判断に任せたいという形で皆さんの方にメールをさせていただいた。ご意見等よろしくお願ひしたい。

〈委員〉

- これだけのエリアがあると、広域連携としては、たくさん市町村が集まりすぎて逆に收拾がつかない。繋ぐことは大事だし情報共有としては、年1回代表者が集まったり、協力したりして各エリアで話し合うといったことはあってもいいと思うが、これだけの組織を立ち上げるのは正直、少し現実的ではないと思う。

〈委員〉

- この連携事業会議の目的が“糸魚川駅の利用促進”から始まっているのに、そこから群馬だ、長野だと本来の目的から外れているのはどうかと思う。まずはやるべきことをやって、落ち着いてきたという頃に広げていくというのがベターだと思う。

〈委員〉

- ・連携は大事だが無理せずやっていきたい。

〈事務局〉

- ・今回の意見を踏まえ 返事をさせていただく。

4、その他

〈事務局〉

- ・来年度の事業を固めるための専門委員会を今年中か年明け早々に行う予定。
お忙しいとは思いますがよろしくお願ひしたい。

〈委員〉

各市町村でどういったインバウンドの取り組みをされているかを参考までにお聞きしたい。

〈委員〉

姉妹ジオパークという形で香港とは交流がある。

〈委員〉

民間ベースでツアーを組んで行ったり来たりという話ではない。

〈委員〉

- ・EXPO JAPAN に行き紹介をして 糸魚川へ来ていただくということをしている。どちらかというグループ単位が多い。
- ・市と県と少しずつ予算を出し合い、インバウンド協議会を運営していて、その中でいろいろ取り組んでいる。ただ広がりはない。

〈委員〉

対象としては台湾だが、サイクリングに特化していないので、11月に台湾のメディアの招へい事業が1週間、3週目に台湾のエージェントを1週間やる。11月末には富山県と連携で、台湾の三越等へ行きプロモーションを行う。今年度の末には韓国、来年度には香港やバンコクなどを頭に入れている。

〈委員〉

インバウンド推進協議会という組織があり、今力を入れているのが台湾。アルペンルートに年間24・5万人が来るが、台湾の方が12・3万人と約半分。それ以外という韓国、シンガポール等。そちらにもプロモーションをしていくつもり。

〈委員〉

この間、県の商談会でタイへ行ってきた。親日のタイは個人が多い。台湾は最近伸びてこ

なくなった。今のところは東南アジア系から力を入れていこうと思っている。

〈委員〉

上越にもインバウンド推進協議会があり、対象は台湾。隣の妙高市にスキーがありオーストラリアに誘客を図っているようなので、うまく連携していきたいと話をしている。ただ具体的にどういう連携をとるのかという話までは至っていない。

上越のパンフレットも多国語バージョンを作成している。

〈委員〉

白馬の課題はグリーン期。ウインターシーズンはともかくグリーン期のインバウンドに関しては発展途上。皆さんのお力をお借りしながら目的地ではなく経由地として連携できればいい。黒部ダムへ行く 24 万人のうち一部でも糸魚川方面へのルートへ来ることが出来れば白馬にも来ていただけると思っている。

〈委員〉

6 市町村 皆さんと切磋琢磨しながら連携し いい地域にしていきたい。

5、閉会挨拶

〈糸魚川市観光協会〉

(16 : 05 終了)